

杉原真

研究開発期間：フェーズⅠ：平成27年度

フェーズⅡ：平成28年度～平成29年度

- 高精度な視線計測を実現する技術に関する研究
- 視線を含むセンシングデータから成るビッグデータを活用した運転支援技術の確立

- 数 10～100m 先のオブジェクトに対して視線を計測するシステムを H28 年度までに開発する。
- 平成 29 年度までに、センシングデータからなるビッグデータを活用した運転支援技術を搭載した実車を開発し、デモンストレーションする。
- 実車及びドライビングシミュレータを用いて、提案する運転支援技術が交通事故を削減するために有用であることを示す。

- 提案する運転支援技術によって交通事故を削減し、高度情報化交通社会の実現に貢献する。

